PART4 社会主義陣営の勢力拡大

Chapter1　ロシア革命・ソ連成立の影響

目標
モスクワから世界同時革命を画策した国際組織とその結果をおさえよう。
第二次世界大戦前，ソ連に次ぐ社会主義国としてアジアで成立した国をおさえよう。

1　ロシア革命のヨーロッパへの影響

1917年の〔　　　　　　〕**革命**，1919年の**コミンテルン〔第３インターナショナル〕**結成，1922年の**ソ連成立**は，ヨーロッパやアジアに大きな影響を与えた。

①ソヴィエト＝ロシア国内

アメリカ・イギリス・フランス・日本などによる**対ソ干渉戦争〔シベリア出兵〕**に苦しむレーニンのソヴィエト政府は，革命政権を防衛するため，世界に革命を波及させる目的でモスクワにコミンテルンを設立した。

※この世界革命論は，レーニンの死後トロツキーが引き継ぐが，一国社会主義論の〔　　　　　　　　　〕が政権担当者となり否定したこともあり，失敗に終わった。

②ドイツ

1918年　ドイツ共産党結成・ドイツ革命

③ハンガリー

1918～19年　ハンガリー革命

④イタリア

1920年　北イタリアのストライキ

1921年　イタリア共産党成立

⑤フランス

1920年　フランス共産党結成

1924年　エリオ左派連合内閣成立

ソ連国旗

⑥イギリス

1924年　労働党と自由党の連立内閣成立→マクドナルド首相

2　ロシア革命のアジアへの影響

①〔　　　　　　　　　〕→ソ連に次ぐ社会主義国となる

1924年　**チョイバルサン**によりモンゴル人民共和国成立

②中国

1919年　五・四運動

1921年　**中国共産党**成立→陳独秀のち毛沢東らが中心

1924年　第一次国共合作

1925年　五・三〇運動

③日本領朝鮮

1919年　三・一独立運動

1925年　朝鮮共産党成立

④日本

1922年　**日本共産党**結成→堺利彦・山川均ら

※のち治安維持法・特別高等警察により弾圧される。

⑤インドネシア〔蘭印〕

1920年　インドネシア共産党結成

⑥インドシナ〔仏印〕

1930年　インドシナ共産党結成（香港）

⑦英領インド

1925年　インド共産党結成

まとめ

モスクワのコミンテルン〔第３インターナショナル〕は，世界同時革命を目指し各地の共産党を指導したが，失敗に終わった。

アジアではモンゴルがソ連に続く社会主義国となった。

Chapter2　ソ連の強大化

目標　ソ連が世界恐慌後に存在感を増した理由を考えよう。
スターリンの支配体制のようすを学ぼう。

1　列国のソ連承認

　レーニンによる戦時共産主義（1918～21年）から**新経済政策〔ネップ〕**（1921～28年）への転換が評価されたソ連を，列国は次々に承認していった。

※さらにスターリンの**第一次**〔　　　　　　〕**計画**（1928～32年）も，1929年の**世界恐慌**を回避したことで注目を集めた。→のち**第二次五カ年計画**も実行（1933～37年）

①ドイツ（1922年）
　社会民主党エーベルト大統領が承認

②イギリス（1924年）
　マクドナルド労働党内閣が承認
　※イタリア・フランスも同年に承認。

③日本（1925年）
　加藤高明内閣（護憲三派）が〔　　　　　　　　〕**条約**で承認
　※同年，**治安維持法**と普通選挙法を制定。

・・

④アメリカ（1933年）
　フランクリン＝ローズヴェルト大統領（民主党）の善隣外交政策。
　※翌34年，ソ連は〔　　　　　　　　〕に加盟し常任理事国となった（前年に日本とドイツは脱退を通告していた）。

2 ソ連のスターリン体制

①〔　　　　　〕**経済**だったので世界恐慌の影響を受けず社会主義の基礎を築く

②反対派を「大粛清（大量の投獄・処刑）」して独裁

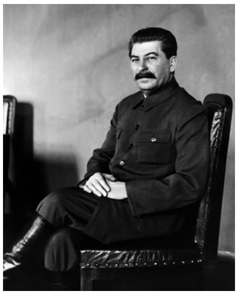
個人崇拝を強制し，（左翼的）全体主義の〔　　　　　　　　　　〕**体制**が確立。

③コミンテルンが反ファシズム**人民戦線**結成を唱える（1935年）

イタリア・ドイツのファシズム・ナチズムや，日本の軍国主義化に対抗。

④**スターリン憲法**の発布（1936年）

規定された信教の自由や民族間の平等は守られず，〔　　　　　　〕**が一党支配**を続けた。



スターリン

まとめ

ソ連は計画経済だったので，世界恐慌の影響を受けずに済んだ。

スターリンは個人崇拝を強制し，(左翼的)全体主義の独裁者として君臨した。

第10講　PART4　確認問題

1　1919年，モスクワで創設された世界改革推進を目指す組織はどれか。

①　コミンフォルム　　②　コミンテルン
③　コメコン　　④　ワルシャワ条約機構

2　世界革命論を否定し，一国社会主義論を主張したのはだれか。

①　レーニン　　②　トロツキー
③　スターリン　　④　フルシチョフ

3　1924年にモンゴル人民共和国を建てたのはだれか。

①　チョイバルサン　　②　ピブン
③　カルティニ　　④　アギナルド

4　中国で 1921年に陳独秀が結成した政党はどれか。

①　中国共産党　　②　中華革命党
③　中国国民党　　④　中国同盟会

5　日本で堺利彦・山川均らが 1922年に結成した政党はどれか。

①　日本共産党　　②　日本労農党
③　労働農民党　　④　日本無産党

6 ソ連で1921～28年にとられた経済政策を何というか。

① ニューディール　② ネップ
③ ブロック　④ ペレストロイカ

7 1929年に発生した世界恐慌をソ連は回避したが，そのときにとられていた政策はどれか。

① グラスノスチ　② 新経済政策
③ 第一次五カ年計画　④ 第二次五カ年計画

8 日本がソ連を承認した条約はどれか。

① 日ソ共同宣言　② 日ソ基本条約
③ 日ソ中立条約　④ 日ソ平和条約

9 ソ連で個人崇拝を強制し，(左翼的) 全体主義体制を確立させたのはだれか。

① レーニン　② ゴルバチョフ
③ スターリン　④ フルシチョフ

10 1930年代のソ連の状況に**あてはまらないもの**はどれか。

① 国際連盟への加盟　② 反ファシズム人民戦線結成の提唱
③ スターリン憲法発布　④ 新経済政策［ネップ］の推進

第10講　PART4　確認問題 解答

1 解答：②　コミンテルンは第３インターナショナルとも呼ばれる。

①：1947 年に発足した，各国共産党の連携のための国際組織。
③：1949 年に発足した，ソ連と東欧の社会主義国家間の経済援助体制。
④：西側の NATO に対抗して 1955 年に結成された，ソ連を含む東欧の８カ国による軍事同盟。

2 解答：③　スターリンは，五カ年計画を推進して工業・農業の集団化を進めた。

①：世界革命論を唱えた。
②：レーニンが唱えた世界革命論を引き継いだ。
④：スターリン批判を断行した。

3 解答：①　モンゴル人民共和国は，ソ連に次ぐ社会主義国となる。

②：1932 年に起こったタイ立憲革命を指導した。
③：インドネシアで民族運動を行った。
④：フィリピン独立運動を指導した。

4 解答：①　中国共産党は，現在の政権党でもある。

②：1914 年に孫文が結成した秘密結社方式の政党。
③：1919 年，中華革命党を改組して結成された政党。
④：1905 年に孫文が結成した中国初の本格的政党。

5 **解答：①**　日本共産党は，治安維持法や特別高等警察により弾圧された。

②：三輪寿壮，麻生久らが 1926 年に結成した政党。
③：杉山元治郎らが 1926 年に結成した政党。
④：1936 年，労農無産協議会を改称してつくられた政党。

6 **解答：②**　新経済政策〔ネップ〕は，市場経済などを容認し生産力向上を目指した経済政策。

①：アメリカでとられた，世界恐慌に対処するための政策。
③：イギリスやフランスなどでとられた，世界恐慌に対処するための政策。
④：1985 年から始まった，ソ連ゴルバチョフ政権が進めた改革。

7 **解答：③**　第一次五カ年計画は 1928 ～ 32 年に実行された。

①：情報公開のことで 1985 年から始まった。
②：1921 ～ 28 年に実行された。
④：1933 ～ 37 年に実行された。

8 **解答：②**　日ソ基本条約は，1925年に締結され，同年には北樺太を含め，シベリア出兵から完全に撤退した。

①：1956 年に調印された，戦争状態の終結，国交回復などをうたった宣言。
③：1941 年に締結された，相互不可侵と中立維持を定めた条約。
④：1955 年に両国から条約案が提出されたが，締結に至っていない。

9 **解答：③**　スターリンは，五カ年計画を推進してソ連の経済的地位を高めた一方，恐怖政治を行った。

①：ロシア革命を指導した。
②：1985 年に共産党書記長となり，ペレストロイカなどの改革を推進した。
④：1953年に共産党第一書記となり, 冷戦時代に平和共存路線をとった。

10 **解答：④**　1920 年代のソ連の状況。

①：1934 年に国際連盟に加盟し常任理事国となった。
②：1935 年にコミンテルンが提唱した。
③：スターリン憲法は 1936 年に発布された。